



# 園だより 12月号



## 12月の聖句

神はその独り子をお与えになったほどに、  
世を愛された

ヨハネによる福音書 3章16節

「食べられる宝石みたい！先生も食べる？」と年中の〇ちゃん、赤く透明なザクロの実を1粒分けてくれました。傍らで年長さんが種を誰が遠くに飛ばすか競争！こんな遊びと共に甘酸っぱい自然な味が幼い日の記憶の中に、鮮やかに残ることでしょう。

父母会主催の鑑賞会「おしゃべりなたまごやき」の人形劇、少し難しいかな？と思ったのですが…人形が舞台だけでなく演者も子ども達の前に現れ語り掛け物語の中に引き寄せる力はさすがプロ！あっという間の1時間でした。芝生やウッドデッキ・池の周り・お部屋でのパン給食は、観劇の後の心満たされた和やかな一時でした。企画し準備下さった委員の皆様ありがとうございました。

お天気に恵まれたプレイデー大勢のお家の方々・卒業生と連なる父母の皆様において頂き、楽しい時になりました。お寄せ頂いた感想の一部を紹介します。

「毎年ながら、飾りつけのクオリティの高さに先生方に尊敬の思いでいっぱいになります。どの作品も驚くほど作り込んでいて美しくワクワクする空間でした。」「家族でコンサートや焼き芋・製作など楽しませていただきました。」

「きっと運動や製作が得意ではない子が、中にはいたかもしれません。けれど友達の影響や励まし先生方の声かけや雰囲気作りで本人が“苦手”と感じるよりも、楽しさや達成感を得ることができ、自信が繋がったのでは、と思いました。」

他にも沢山のお便りに教師たちもどんなにか励まされたことでしょう。心温まるコーラスの歌声、手の込んだまごころサークルの作品・お父様方のお手伝い、参加された皆様、有難うございました。重ねてお礼申し上げます。

21日は、上川さんの畑で採れた野菜と園庭で採れた柿やぎんなん・ザクロを囲んで、瀬戸先生から「200年前にイギリスからアメリカに渡った人々が原住民に助けられ苦労の末に収穫出来た喜びを神に感謝したことが始まりです。」と話され、みんな真剣に聞いていました。



アドベント（降誕を待つ4週間）に入り、玄関のもみ木に電飾が灯りました。  
賛美の調べが園中に響き、大切な人への内緒のプレゼント作りも始まりました。  
2000年前も今と同じように争いや戦争が絶えず、人々は神が約束された救主の降誕を  
長い間待ち望んでいました。今月の聖句はその喜びに溢れた言葉です。  
お家の皆さまと共に平和の訪れを祈りつつ、一緒にクリスマスをお祝いしましょう。

